

共通科目シラバス（令和7年度（1年生））

目 次

<教養科目>

- 1 体育
- 2 外国語（英会話）
- 3 情報処理

<共通科目>

- 4 農業経営基礎
- 5 農業簿記
- 6 農業機械利用Ⅰ
- 7 農業機械利用Ⅱ
- 8 農業機械応用
- 9 農業概論
- 10 土壌肥料基礎
- 11 GAP概論

※実務経験のある教員等による授業科目

授業科目	(科目名) 体育				講師名	県総合体育センター職員 各担任		
履修学科	全学科	履修学年	1 年	履修時限数	1 5	単位数	1	
授業形態	実技方式							
テーマ及び達成目標	各種スポーツ活動を通じて、身体の鍛錬を行い、健康的な生活が送れる態度を養う。 軟式野球・サッカー・バレーボール・バスケットボール 卓球・硬式テニス・バドミントン 等							
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	体育着，運動靴，種目に応じた用具類							
授業スケジュール	1 アイスブレイク，集団行動，ミニゲームなど 2 各種体育競技・レクレーションなど 3 校内体育大会							
成績評価	技能審査及び意欲(100点)							

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 外国語 (英会話)				講師名	ワイト アントワン		
履 修 学 科	全学科	履修学年	1 年	履修時限数	1 5	単位数	1	
授 業 形 態	講義形式 (講師対生徒, 生徒対生徒の会話, それにより実践的な英語を身につける)							
テーマ及び達成目標	外国人講師のネイティブの発音に触れ, 基本の英会話を身につける。							
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	講師作成資料							
授業スケジュール	1 質問単語 2 語彙, 文法 3 Is there? Thereの使い方 4 テーマに沿った文章作り, 日記の発表 5 復習, テスト							
成 績 評 価	テスト, 態度で総合評価 (100点)							

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 情報処理				講師名	株式会社CoCoDigi		
						各担任		
履 修 学 科	全学科	履修学年	1 年	履修時限数	1 5	単位数	1	
授 業 形 態	演習方式							
テーマ及び達成目標	農業における情報処理の基礎を身につけ、パソコンの基本操作からワープロ機能及び表計算機能を習得する。							
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	パソコン							
授業スケジュール	1 E x c e l の基礎 2 数式と関数による計算式の作成 3 ワードプロソフトの利用 4 データ分析と応用							
成 績 評 価	作業データ提出(100点)							

授業科目	(科目名) 農業経営基礎				講師名	秋山 邦裕 (鹿児島大学名誉教授)		
履修学科	全学科	履修学年	1 年	履修時限数	1 5	単位数	1	
授業形態	講義形式							
テーマ及び達成目標	マネジメントの主要な柱である、マーケティングとイノベーションについて、ケーススタディをとおして実践的な手法の活用能力を養う。 マネジメントの基礎は、ドラッカー『マネジメント：エッセンシャル版』ダイヤモンド社、を参考にして要点を学ぶ。副教材として、岩崎夏海『もし野球部の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』新潮文庫、関連アニメとDVDを使用して、マネジメントを身近で実践的なテーマであることを具体的に理解する。 ケーススタディでは、多様な農業経営、農村ビジネスを取り上げる。							
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	講義のパワーポイント資料の一部と農業経営等のPDF資料を配付							
授業スケジュール	1 マネジメントの基礎：顧客創造・新しい市場創造 2 農業経営のケーススタディ：法人経営の多様な展開 3 農業経営と関連した支援ビジネス：社会的企業，NPO 4 農業・農村ビジネスの展望：新たな価値創造							
成績評価	レポート（50点），出席状況（30点），学習態度・発表（20点）							

授 業 科 目	(科目名) 農業簿記				講師名	各科担任		
履 修 学 科	全学科	履修学年	1 年	履修時限数	1 5	単位数	1	
授 業 形 態	講義及び演習方式							
テーマ及び達成目標	農業で用いる簿記は、特有の勘定科目等が多く、商業簿記や原価計算を必要とする工業簿記とは大きく異なる。さらに各種の簿記があるが、勘定科目等が農業簿記とマッチしていない。 そこで、農業簿記に特化した農業の実体・実状等を反映して実践に即対応できる「学んだ知識が即実際に役立つ」を実現できるように農業簿記の計算原理、勘定と勘定計算、仕訳と転記、試算表、決算整理、決算までの帳簿会計を体系的に学習する。							
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	農業簿記検定 教科書 3 級 大原出版 農業簿記検定 問題集 3 級 大原出版 農業簿記検定過去問題集 3 級 日本ビジネス技能検定協会							
授業スケジュール	1 農業簿記の概要 2 勘定科目 3 流動資産および流動負債など 4 決算書の作成							
成 績 評 価	筆記試験 (100点)							

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 農業機械利用 I			講師名	窪園 尚也 (農大農業研修部講師)		
履 修 学 科	全学科	履修学年	1年	履修時間数	30	単位数	2
授 業 形 態	講義						
テーマ及び達成目標	専攻学習等で扱うことの多い、刈払機と小型車両系建設機械の安全な取扱い方法と一般的な農業機械の構造、機能、取扱、点検整備、簡易な修理、効率利用及び農作業安全に関する基本的な知識を習得する。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	1. 「安全な刈払機作業のポイント」 2. 「小型車両系建設機械運転者教本」			林業・木材製造業労働災害防止協会 全国登録教育機関協会			
授業スケジュール	1 刈払機の安全な取扱い、 2 小型車両系建設機械の安全な取扱い、 3 農業機械の構造機能と取扱い、 4 農業機械の点検整備と簡易な修理 5 農業機械の効率利用 6 農業機械の作業安全						
成 績 評 価	筆記試験 (100点)						

※実務経験のある教員等による授業科目

授業科目	(科目名) 農業概論				講師名	各学科担任 農学部長 畜産学部長 経営技術課職員		
履修学科	全学科	履修学年	1 年	履修時限数	3 0	単位数	2	
授業形態	講義方式							
テーマ及び達成目標	農業大学校で必要とされる農学系及び畜産系に関する基礎的な知識の習得と各学科毎に必要とされる基礎的な知識を習得する。 また、農業経営における作物、園芸及び畜産についての基本的な知識を習得させる。 さらに、食料・農業・農村政策を基本にわが国と本県の農業の概要や政策を中心に理解させる。							
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	① 日本農業技術検定テキスト（３級，２級） かごしま農業の概要パンフレット							
授業スケジュール	1 学科に関する農業基礎知識 2 鹿児島農業の概要について 農業経営 3 家畜の飼育 畜産（ブタ，ウシ）の概要 4 栽培基礎（栽培環境，品種，作付体系，土壌，農具等） 5 栽培基礎（施肥，病虫害，雑草，気象災害，農業用語等） 6 農福連携基礎（農福連携の概要と取組事例等）							
成績評価	筆記試験（７０点） ・ 出席状況（１５点） ・ 学習態度（１５点）							

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 土壌肥料基礎				講師名	普及情報課農業専門普及指導員		
履 修 学 科	全学科	履修学年	1 年	履修時限数	1 5	単位数	1	
授 業 形 態	講義・演習方式							
テーマ及び達成目標	土壌肥料の基礎について理解するとともに、施肥設計についても理解し、環境に配慮した農産物の生産に対する考え方を学習する。							
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	作成資料							
授業スケジュール	1 土壌の特徴と機能 2 本県の土壌の特徴と改善対策 家畜ふんたい肥による土づくりと肥料 3 肥料の種類と施肥設計の考え方 4 まとめ、試 験							
成 績 評 価	筆記試験(100点)							

授 業 科 目	(科目名) GAP概論		講師名	農大職員 (農学部・畜産学部) 陳内 秀樹 (山口大学准教授) (農学部) 大神 健治 (合同会社つちかみ代表) (畜産学部) エス・エム・シー株式会社		
履 修 学 科	全学科	履修年次	1年	履修時間	15時限	1単位
授 業 形 態	講義形式					
テーマ及び達成目標	現在、食の安心・安全に対する関心はますます高まっている。また、農産物の輸出や労働安全等の観点から近年、生産現場へのGAPの導入が加速しつつある。 そこで、農業生産での安心・安全の確保や食の安心・安全に対し農業に携わるものとしてGAPの概念や実践法を習得させる。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	講師作成資料 農業高校等生徒向けGAPテキスト (農学部のみ)					
授業スケジュール	農学部		畜産学部			
	1 食の安心・安全とは 各種GAP制度の概要 について 2 GAPと知的財産権の管理による標準化と差別化戦略					
	3 JGAP適合基準に基づく工程管理 ・食品安全 ・労働安全 ・環境保護 ・人権保護 ・農業経営改善 4 JGAP認証の実際 取組事例について			3 農場で使用する資材等の取扱 (1) 危険物 (油類) (2) 動物用医薬品 4 家畜防疫対策について 5 J-GAP家畜・畜産物の取得状況と審査について 6 アニマルウェルフェアについて		
成 績 評 価	レポート、試験及び出席態度 (100点)					